



サケ・マスの輸入

平成25年12月18日
東京税関



- ・生鮮冷蔵ものについては、成田空港が輸入数量で全国の約4割を占め、第1位(2012年)
- ・冷凍ものについては、東京港が輸入数量で全国の約6割を占め、第1位(2012年)
- ・生鮮冷蔵ものの輸入は12月がピーク

はじめに

サケ及びマスは、ともにサケ科に属する魚であり、日本の食卓ではお馴染みの魚です。

日本の河川を遡上するのは、主に太平洋サケに属するシロザケで、これを塩蔵にした新巻鮭は年末年始の贈答品として有名です。

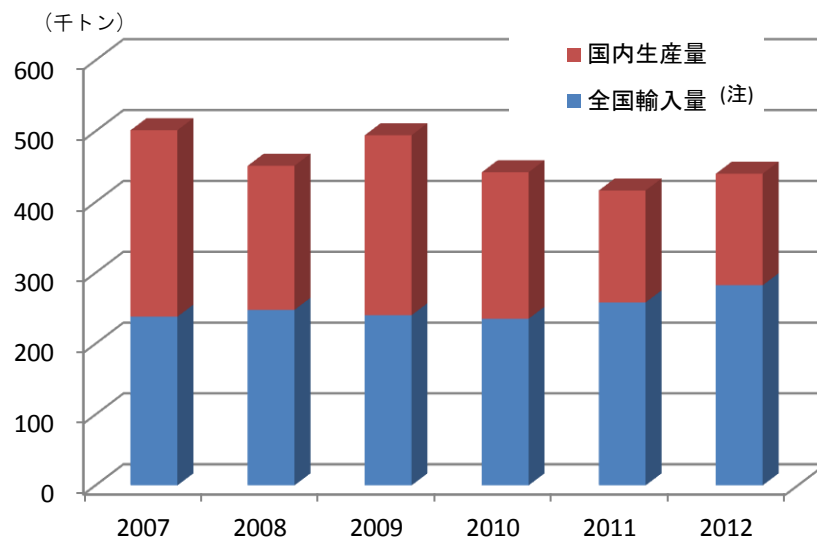
日本でサケ・マスというと、焼き鮭等、加熱調理をして食べるイメージがありますが、海外から輸入される大西洋サケ(アトランティックサーモン)やマス(トラウト)は、徹底した品質管理の下での養殖技術等が発達したことにより、近年では、寿司や刺身等、生でも食べられるようになり、回転寿司等では人気のネタとなっているようです。

近年のサケ・マスの国内生産量と全国輸入量の状況をみますと、国内生産量は減少している一方で、ノルウェー産やチリ産の養殖ものが街中で多く見られるようになり、輸入量は増加傾向という状況となっています。

今回は、年末年始の需要等により、冬季に輸入が多くなり、東京港及び成田空港における輸入量が全国の約58%を占めている、生鮮冷蔵及び冷凍サケ・マスの輸入動向にスポットを当ててみました。

- ・本特集の「サケ・マス」は、輸入は、輸入統計品目番号第03.02項及び第03.03項に属する魚でサケ科のもの(肝臓、卵及びしらこを除く。)、第03.04項に属する生鮮冷蔵フィレ、冷凍フィレでサケ科のものについて、輸出は、輸出統計品目番号第03.02項及び第03.03項に属するものでサケ科のもの(肝臓、卵及びしらこを除く。)についてまとめたものです。
- ・本特集で用いている輸出入の数量及び金額は、財務省貿易統計によります。

サケ・マスの国内生産量と全国輸入量の推移



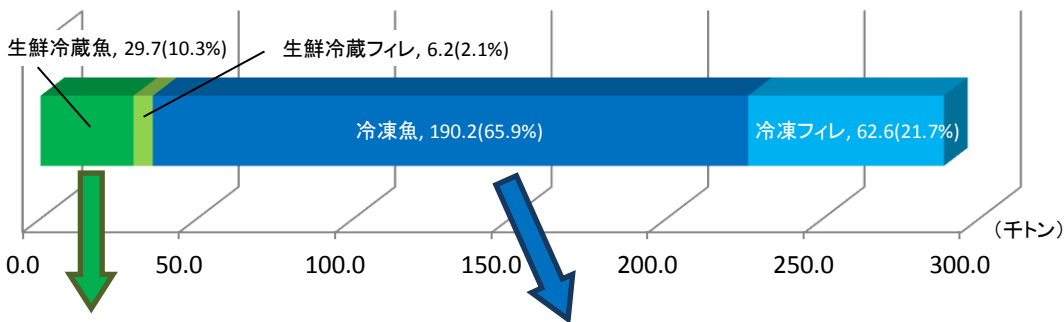
注

上記グラフにおいて

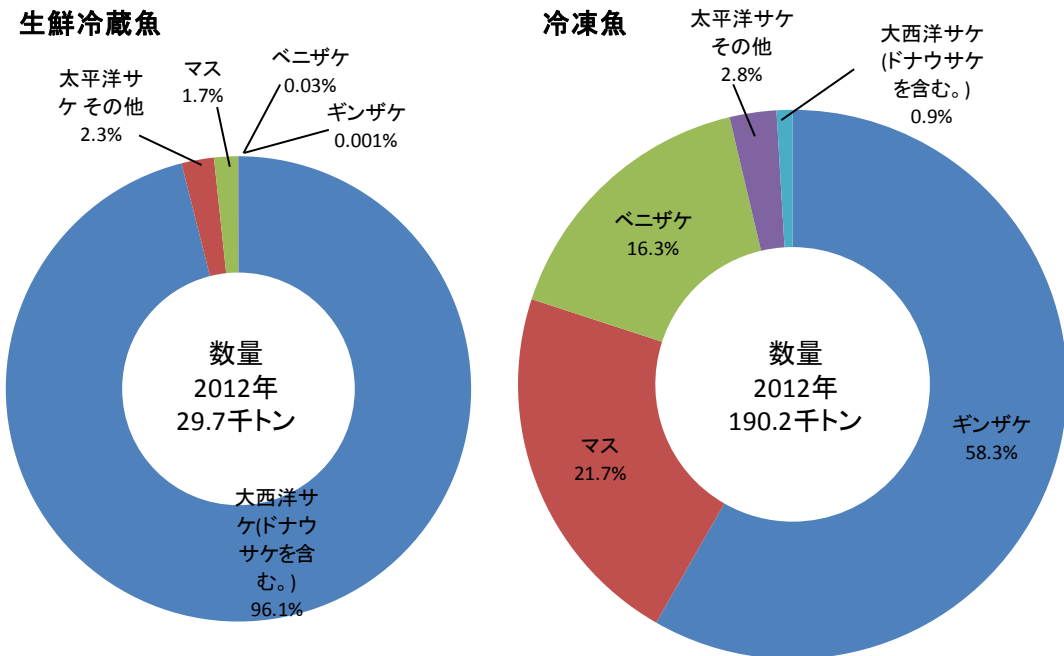
「国内生産量」は、農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」における、海面漁業「さけ・ます類」、海面養殖業「ぎんざけ」、内水面漁業「さく河性さけ・ます類」を合計したものです。

「全国輸入量」は、財務省貿易統計における、第03.02項及び第03.03項に属する魚でサケ科のもの(肝臓、卵及びしらこを除く。)、03.04項に属する冷凍フィレでサケ科のものを併せたものであり、冷蔵フィレや塩蔵・くん製等の加工品を除いたものです。

1. 2012年 輸入サケ・マスの内訳 (全国)



- ・ 冷凍もの（フィレを含む。）の輸入量が全体の約9割。
- ・ 生鮮冷蔵魚の魚種別では、大西洋サケ（アトランティックサーモン）等が9割超のシェア。
- ・ 冷凍魚の魚種別では、ギンザケが約6割のシェア。



今回取り上げた輸入サケ・マスは、

- ・ 生鮮冷蔵で輸入される場合
- ・ 冷凍で輸入される場合

があり、輸入時の形態としては、それぞれ、

- ・ 魚体からエラや内臓等を取り除いた状態で輸入されるもの（生鮮冷蔵魚、冷凍魚）
- ・ 三枚におろした状態で輸入されるもの（生鮮冷蔵フィレ、冷凍フィレ）

があります。

2012年の全国における生鮮冷蔵及び冷凍サケ・マスの輸入実績（数量ベース）を見ますと、冷凍もの（フィレを含む。）が、全体の87.6%と大きなシェアを占めていることがわかります。

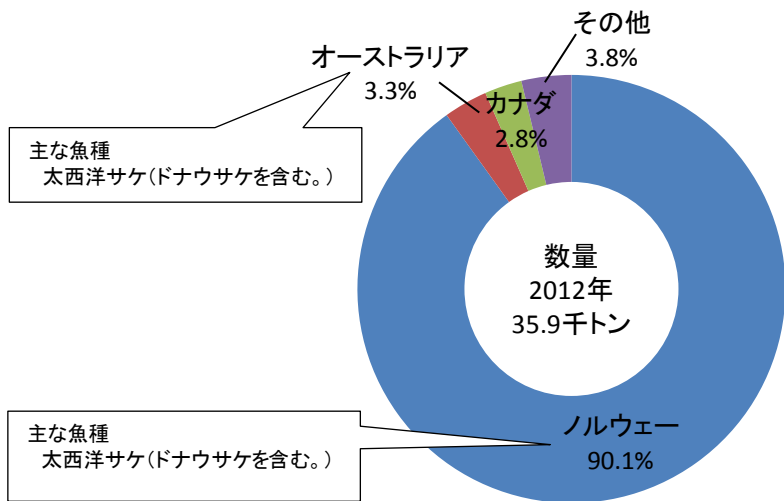
また、魚種別にみますと、生鮮冷蔵魚においては、一般にアトランティックサーモンと呼ばれる大西洋サケ（ドナウサケを含む。）が全体の96.1%と圧倒的割合を占めている一方で、冷凍魚においては、ギンザケが58.3%、マスが21.7%、ベニザケが16.3%となっております。

○ 輸入統計品目における品名と、日本で流通している主要な魚種との対応関係

貿易統計上の分類品名	日本で流通している一般的な名称	
太平洋サケ	ベニザケ	ベニザケ
	ギンザケ	ギンザケ
	その他	シロザケ(アキザケ)、カラフトマス、マスノスケ(キングサーモン)等
大西洋サケ	アトランティックサーモン	
ドナウサケ	-	
マス	トラウト等	
その他	-	

2. 2012年輸入サケ・マスの主な原産国及び主な魚種(全国)

○生鮮冷蔵もの(フィレを含む。)



- ・生鮮冷蔵もの(フィレを含む。)は、ノルウェーが9割のシェア
- ・冷凍もの(フィレを含む。)は、チリが8割のシェア

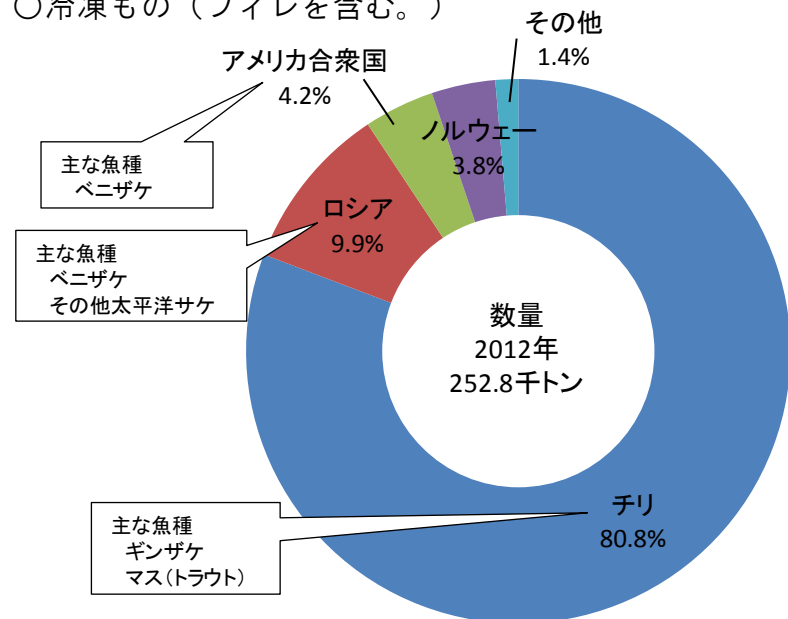
2012年における輸入サケ・マスの原産国の状況及び主な魚種の状況を見ますと、生鮮冷蔵ものと冷凍もので、原産国及び魚種に大きな違いがあることがわかります。

生鮮冷蔵もの(フィレを含む。)においては、ノルウェー産が約9割と、圧倒的なシェアとなっており、大西洋サケが主な魚種です。

一方、冷凍もの(フィレを含む。)においては、チリ産が約8割と圧倒的なシェアとなっており、ギンザケ及びマスが主な魚種です。また、2位のロシア産、3位のアメリカ合衆国産については、ベニザケが主な魚種です。

ノルウェー産及びチリ産が圧倒的に多くなっている理由として、両国は養殖生産が盛んであり、養殖されたものを大量に供給する体制が整っていることにあるようです。

○冷凍もの(フィレを含む。)



○魚種別の主な用途

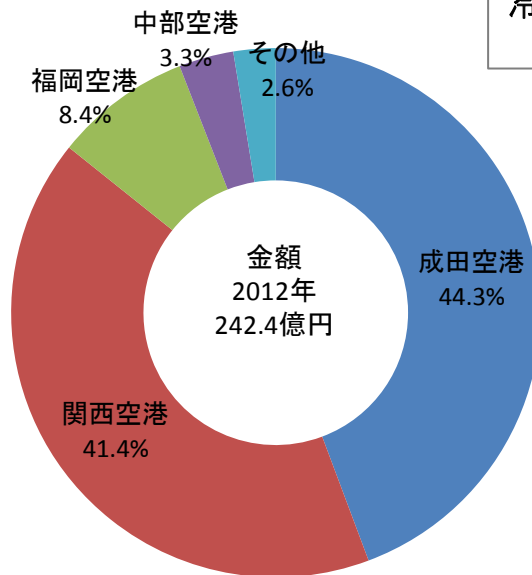
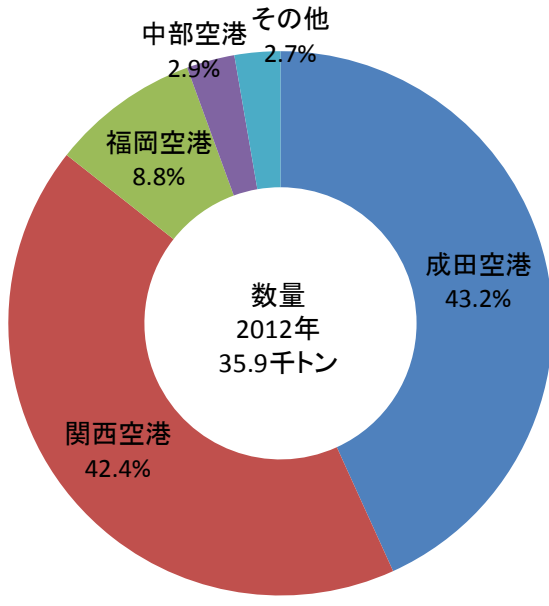
アトランティックサーモン、トラウトは刺身や寿司の他、スモーク、焼きもの等、幅広い用途に用いられているようです。

また、ベニザケは主に焼き物、スモーク、フレーク等に用いられ、ギンザケ、キングサーモンは主に焼きものに用いられているようです。

魚種別	主な用途
ベニザケ	スモーク、焼き物、フレーク等
ギンザケ	焼き物等
シロザケ(アキザケ)	焼き物、フレーク等
マスノスケ(キングサーモン)	焼き物等
アトランティックサーモン	刺し身、寿司、スモーク、焼き物等
マス(トラウト)	刺し身、寿司、スモーク、焼き物、フレーク等

3. 2012年 港別シェア

○生鮮冷蔵もの(フィレを含む。)



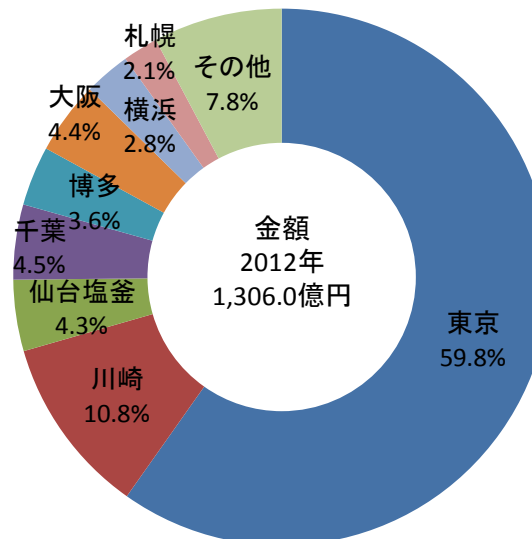
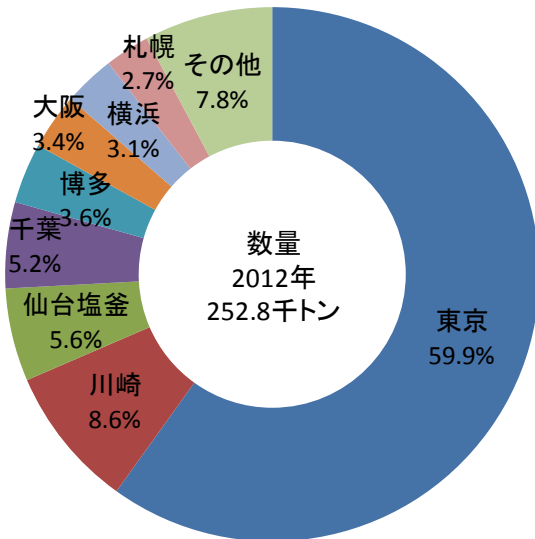
生鮮冷蔵もの(フィレを含む。)の輸入は、成田空港が1位
冷凍もの(フィレを含む。)の輸入は、東京港が1位

輸入サケ・マスは、航空貨物として輸入され、冷凍物(フィレを含む。)については、海上貨物として輸入されていることが分かります。

生鮮冷蔵もの(フィレを含む。)の輸入数量を見ますと、成田空港が43.2%で1位、関西空港が42.4%の僅差で2位となっており、人口の多い都市部を中心に輸入される傾向が見てとれます。

一方で、冷凍もの(フィレを含む。)の輸入数量については、東京港が全体の約6割を占め、圧倒的シェアで1位となっており、近隣の川崎港、千葉港、横浜港も上位となっています。この要因として、冷凍ものは、解凍して加工を経ることが多いようで、関東圏内に加工場が多く存在することから、東京港及び近隣で輸入される傾向があるようです。

○冷凍もの(フィレを含む。)



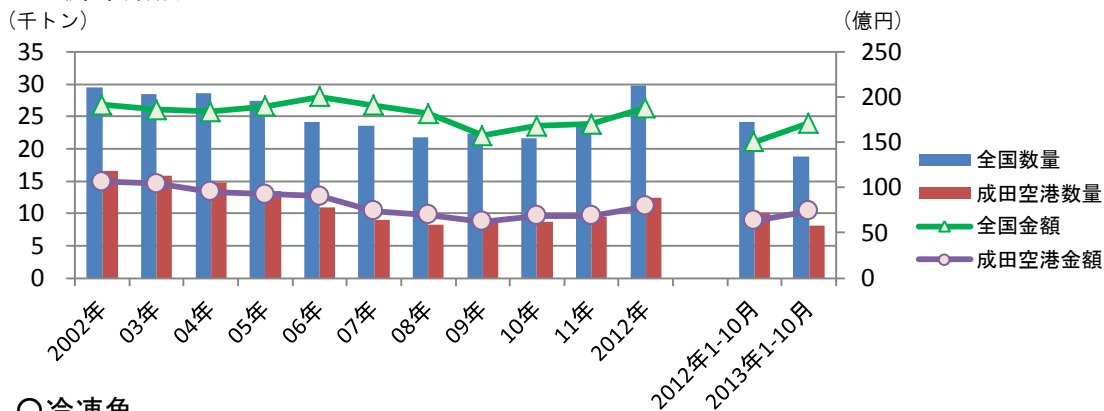
4. 輸入動向の推移

2012年における、サケ・マスの輸入は、

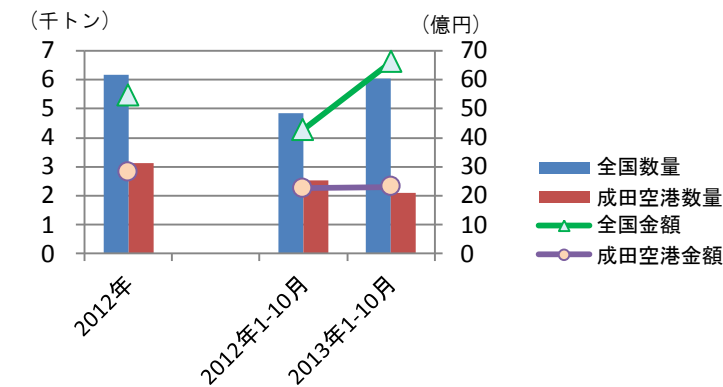
生鮮冷蔵魚(フィレを除く。)については、全国において、数量29.7千トン、金額187.9億円となっており、数量では2002年から減少傾向であったものが増加に転じ、2002年以降最高となっています。一方、成田空港においては、12.4千トン、金額79.4億円となっており、数量において2年連続で上昇しています。また、生鮮冷蔵フィレ^(注)については、全国において、数量6.2千トン、金額54.4億円となっており、本年1-10月は、全国ベースにおいて前年を上回る数量・金額で推移しています。

次に、冷凍魚(フィレを除く。)については、全国において、数量190.2千トン、金額805.2億円となっており、2002年以降、第4位の数量です。また、冷凍フィレ^(注)については、全国において、数量62.6千トン、金額500.8億円となっており、比較が可能な2007年以降、過去最高の数量となっています。一方、東京港においても、数量40.1千トン、金額312.4億円となっており、過去最高の数量となっています。

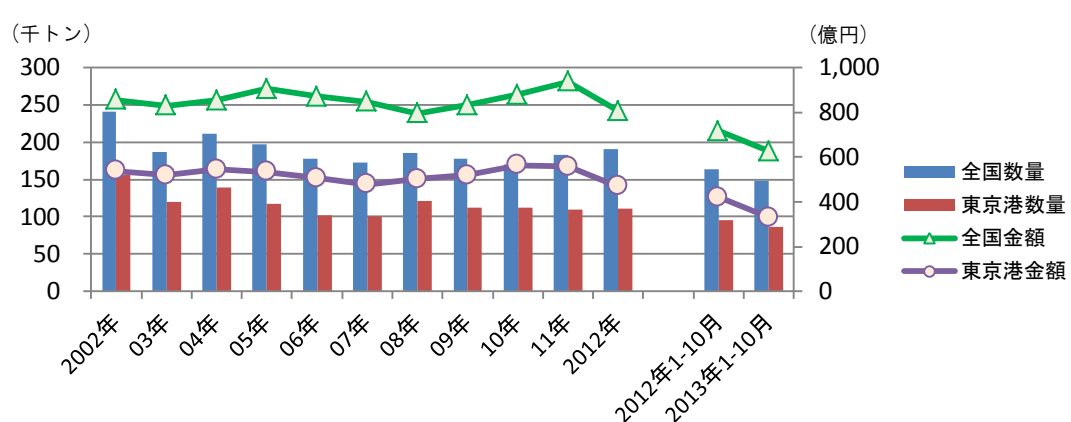
○生鮮冷蔵魚



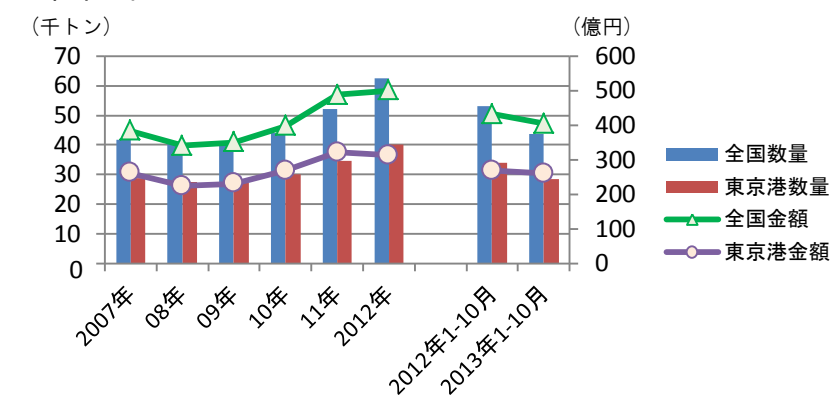
○生鮮冷蔵フィレ



○冷凍魚



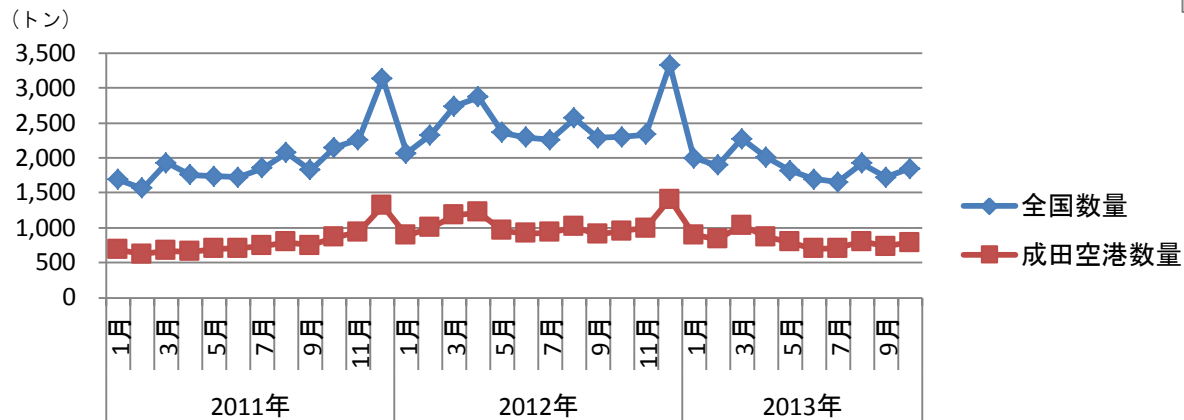
○冷凍フィレ



注:生鮮冷蔵フィレは2011年以前について、冷凍フィレは2006年以前について、輸入統計品目上、サケ科のものを特定して分類していませんでした。

5. 月別輸入動向（生鮮冷蔵魚及び冷凍魚（フィレを除く。））

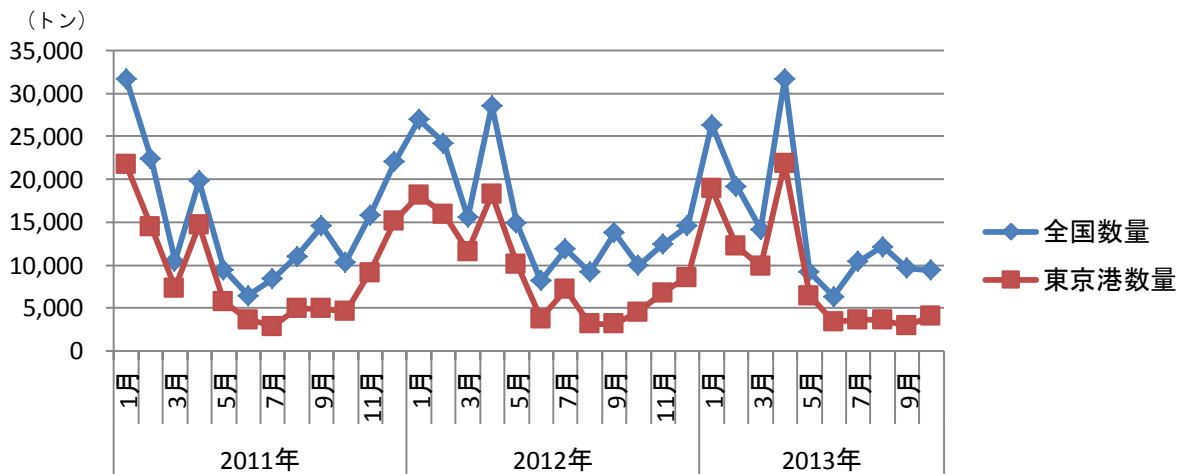
○生鮮冷蔵魚



生鮮冷蔵魚の輸入は、12月がピーク
冷凍魚の輸入は、1月～春がピーク

生鮮冷蔵魚及び冷凍魚（フィレを除く。）について月別に輸入量を見ると、生鮮冷蔵魚については、12月にピークを迎えることがわかります。これは、年末・年始において寿司や刺身用途等の需要が高まるため、この時期の輸入が盛んになるようです。

○冷凍魚

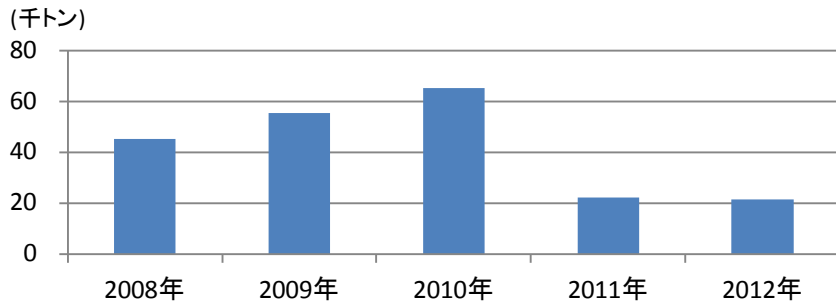


一方、冷凍魚については、1月から春にかけて大きなピークがあることが分かります。この要因の一つとしては、冷凍魚の大きなウェイトを占めるチリ産ギンザケの漁獲シーズンが影響しているようで、毎年11月頃から漁獲が開始されたギンザケが冷凍された後、海上貨物として順次輸出され、1月以降本格的に日本へ到着するようです。

なお、東京港及び成田空港においても、全国と同様の傾向で推移しています。

6. 輸出動向

生鮮冷蔵魚及び冷凍魚(フィレを除く。)の輸出動向(全国)



2012年冷凍魚(フィレを除く。)の輸出(全国)

仕向先	数量 (キロ)	金額 (千円)
中華人民共和国	11,194,085	3,237,262
タイ	5,707,822	1,486,207
ベトナム	4,231,429	1,227,850
その他	356,103	116,505

日本から海外へのサケ・マスの輸出は、国産のシロザケを中心に行われており、2010年は約6.5万トンでしたが、2011年から国内生産高が減少していること等を背景に、輸出量も減少しており、2012年は約2.1万トンでした。

日本のサケは、主に冷凍で輸出されていて、中国、タイ、ベトナムの3カ国向けで99%以上(2012年)を占めています。シロザケの生産量(漁獲量)は世界中で日本が最も多いようで、日本の天然もののシロザケがタイ、ベトナムなどで加工された後、第三国や我が国へ輸出されているようです。

◎今後の輸入動向等について

業界によれば

- ・ 天然のサケ・マスは、年によって漁獲量に大きな差があり、今後の動向を予想するのが困難である。
 - ・ 冷凍の主要魚種であるチリ産のギンザケ及びトラウトについては、今までは日本向けの生産が主体であったが、日本以外での消費需要が伸びていること、チリでの生産量が減少傾向であることから、日本向けの輸出は今後数年間は減少傾向になると思われる。
 - ・ 大西洋サケは、現在はノルウェー産の生鮮冷蔵ものが主流だが、今後は、チリ産のギンザケ及びトラウトの代替として、チリ産の冷凍大西洋サケの輸入が増える可能性がある。
- とのことです。

【本資料に関する問い合わせ】

東京税関 調査部 調査統計課 TEL：03-3599-6385 (直通)
〒135-8615 東京都江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎 2階
※本資料を引用する際は、東京税関の資料による旨を注記して下さい。

(参考1/2)

○サケ・マスの国内生産量と全国輸入量の推移

(単位：トン)

	2007	2008	2009	2010	2011	2012
国内生産量	263,192	203,391	254,017	206,834	157,977	157,502
全国輸入量	238,226	247,800	240,264	235,207	258,361	282,532

「国内生産量」は、農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」における、海面漁業「さけ・ます類」、海面養殖業「ぎんざけ」、内水面漁業「さく河性さけ・ます類」を合計したものです。□
 「全国輸入量」は、財務省貿易統計における、第03.02項及び第03.03項に属する魚でサケ科のもの(肝臓、卵及びしらこを除く。)、03.04項に属する冷凍フィレでサケ科のものを併せたものであり、冷蔵フィレや塩蔵・くん製等の加工品を除いたものです。

○サケ・マスの国内生産量と全国輸入量の推移

(単位：キロ、千円)

		2002年	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	2012年	2012年1-10月	2013年1-10月
		生鮮冷蔵魚	全国数量	29,551,263	28,405,467	28,556,125	27,379,008	24,142,225	23,493,743	21,749,185	22,301,674	21,542,926	23,680,793	29,735,410
	成田空港数量	16,508,738	15,859,036	14,714,316	13,376,909	10,852,725	8,987,103	8,282,039	8,824,707	8,716,527	9,443,229	12,373,907	9,972,608	8,167,951
	全国金額	19,140,762	18,611,063	18,400,157	18,988,850	20,017,122	19,060,628	18,188,025	15,717,312	16,802,428	17,023,332	18,794,592	15,047,148	17,093,546
	成田空港金額	10,642,114	10,446,110	9,533,304	9,276,513	9,055,540	7,410,558	7,004,160	6,262,810	6,876,721	6,883,682	7,942,731	6,338,331	7,394,446

		2012年	2012年1-10月	2013年1-10月
		生鮮冷蔵フィレ	全国数量	6,160,561
	成田空港数量	3,136,285	2,525,059	2,111,129
	全国金額	5,443,447	4,265,099	6,612,900
	成田空港金額	2,793,650	2,249,430	2,298,758

		2002年	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年	11年	2012年	2012年1-10月	2013年1-10月
		冷凍魚	全国数量	240,606,262	187,115,949	210,988,582	197,447,627	178,280,381	173,046,679	184,999,635	177,244,139	169,585,951	182,682,203	190,226,781
	東京港数量	156,462,930	119,888,400	139,301,330	116,709,410	102,079,472	100,384,625	120,715,524	112,686,618	111,802,872	109,258,528	111,355,761	95,970,787	87,053,900
	全国金額	85,483,197	82,988,764	85,198,181	90,476,981	87,014,637	84,677,423	79,414,008	83,123,625	87,787,641	93,622,917	80,521,810	71,457,418	62,606,697
	東京港金額	53,818,859	51,819,439	54,316,481	53,249,227	50,521,327	47,827,177	50,151,530	51,798,516	56,430,949	55,614,155	46,846,535	42,090,156	33,026,018

		2007年	08年	09年	10年	11年	2012年	2012年1-10月	2013年1-10月
		冷凍フィレ	全国数量	41,685,436	41,051,484	40,717,728	44,078,060	51,998,375	62,569,590
	東京港数量	28,917,319	27,553,776	27,184,632	30,088,434	34,733,264	40,092,426	34,119,630	28,614,918
	全国金額	38,408,308	34,129,281	35,087,051	39,794,051	48,768,779	50,080,986	43,195,106	40,398,705
	東京港金額	26,214,081	22,472,147	23,043,399	26,860,520	32,066,316	31,237,484	26,897,177	26,025,848

○2012年 輸入サケ・マスの内訳 (全国)

	輸入統計品目番号	品名	数量(トン)		金額(千円)	
生鮮冷蔵魚	0302.11-000	ます	491,894		359,285	
	0302.13-011	べにざけ	8,686		9,439	
	0302.13-012	ぎんざけ	306		237	
	0302.13-019	太平洋さけ その他	670,007		531,683	
	0302.14-000	大西洋さけ(ドナウさけ含む)	28,564,517		17,893,948	
	0302.19-000	その他	0		0	
			29,735,410		18,794,592	

	輸入統計品目番号	品名	数量(トン)		金額(千円)	
冷凍魚	0303.11-000	べにざけ	30,984,363		13,954,874	
	0303.12-010	ぎんざけ	110,862,582		46,864,459	
	0303.12-090	太平洋さけ その他	5,238,105		1,683,067	
	0303.13-000	大西洋さけ(ドナウさけ含む)	1,783,682		729,300	
	0303.14-000	ます	41,358,049		17,290,110	
	0303.19-000	その他	0		0	
			190,226,781		80,521,810	

(参考2/2)

○2012年輸入サケ・マスの主な原産国及び主な魚種(全国)

生鮮冷蔵もの(フィレを含む。)

順位 (数量ベース)	原産国	数量合計 (キロ)	金額合計 (千円)	魚種内訳	
1	ノルウェー	32,337,758	21,387,190	生鮮冷蔵	ます 457,370 314,805
				生鮮冷蔵フィレ	大西洋さけ、ドナウさけ 26,398,070 16,368,275
				ます	太平洋さけ、大西洋さけ、ドナウさけ 5,479,404 4,699,585
2	オーストラリア	1,193,472	947,338	生鮮冷蔵	ます 34,524 44,480
				生鮮冷蔵フィレ	太平洋さけ一その他 3,203 2,268
				ます	大西洋さけ、ドナウさけ 1,147,714 890,296
3	カナダ	1,013,644	939,408	生鮮冷蔵	太平洋さけ、大西洋さけ、ドナウさけ 8,031 10,294
				生鮮冷蔵フィレ	べにざけ 2,024 1,634
				ます	太平洋さけ一その他 81,727 75,042
-	その他	1,351,097	964,103	生鮮冷蔵	大西洋さけ、ドナウさけ 279,914 158,100
				生鮮冷蔵フィレ	太平洋さけ、大西洋さけ、ドナウさけ 649,979 704,632
				ます	べにざけ 6,662 7,805
				生鮮冷蔵	ぎんざけ 306 237
				生鮮冷蔵	太平洋さけ一その他 585,077 454,373
				生鮮冷蔵	大西洋さけ、ドナウさけ 738,819 477,277
				生鮮冷蔵	太平洋さけ、大西洋さけ、ドナウさけ 18,474 21,156
				生鮮冷蔵	ます 1,759 3,255
					35,895,971 24,238,039

冷凍もの(フィレを含む。)

順位 (数量ベース)	原産国	数量合計 (キロ)	金額合計 (千円)	魚種内訳	
1	チリ	204,209,384	105,320,263	冷凍	ぎんざけ 110,449,980 46,723,882
				冷凍	太平洋さけ一その他 419,858 174,895
				冷凍	大西洋さけ、ドナウさけ 748,071 281,276
2	ロシア	25,013,409	9,455,460	冷凍	ます 37,229,745 15,357,704
				冷凍	太平洋さけ、大西洋さけ、ドナウさけ 9,082,127 6,518,165
				冷凍	ます 46,248,533 36,242,655
3	アメリカ合衆国	10,569,861	6,124,129	冷凍	その他一さけ科のもの 31,070 21,686
				冷凍	太平洋さけ一その他 21,598,655 8,635,023
				冷凍	ぎんざけ 274,683 78,441
4	ノルウェー	9,583,124	7,478,251	冷凍	太平洋さけ一その他 3,045,840 662,169
				冷凍	太平洋さけ、大西洋さけ、ドナウさけ 94,231 79,827
				冷凍	べにざけ 9,178,112 5,147,636
-	その他	3,420,593	2,224,693	冷凍	ぎんざけ 119,338 54,500
				冷凍	太平洋さけ一その他 272,145 85,384
				冷凍	大西洋さけ、ドナウさけ 100,514 8,939
				冷凍	太平洋さけ、大西洋さけ、ドナウさけ 899,752 827,670
				冷凍	大西洋さけ、ドナウさけ 643,965 308,055
				冷凍	ます 3,689,942 1,755,466
				冷凍	太平洋さけ、大西洋さけ、ドナウさけ 4,723,768 4,784,005
				冷凍	ます 525,449 630,723
				冷凍	べにざけ 207,596 172,215
				冷凍	ぎんざけ 15,581 7,636
				冷凍	太平洋さけ一その他 1,500,262 760,619
				冷凍	大西洋さけ、ドナウさけ 291,132 131,030
				冷凍	ます 438,362 176,940
				冷凍	太平洋さけ、大西洋さけ、ドナウさけ 641,900 579,293
				冷凍	ます 314,750 386,467
				冷凍	その他一さけ科のもの 8,010 10,493
					252,796,371 130,602,796

○月別輸入動向(生鮮冷蔵魚及び冷凍魚(フィレを除く。))

		(単位:キロ)												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
生鮮冷蔵魚	全国数量	2011年	1,688,733	1,564,281	1,925,586	1,754,464	1,733,837	1,720,034	1,849,417	2,070,718	1,828,566	2,151,477	2,256,261	3,137,419
		2012年	2,068,768	2,325,267	2,737,311	2,871,029	2,357,798	2,293,975	2,261,329	2,568,968	2,284,522	2,299,782	2,333,926	3,332,735
		2013年	1,998,059	1,891,584	2,271,059	2,008,243	1,815,849	1,692,241	1,655,332	1,921,867	1,721,236	1,848,218		
	成田空港数量	2011年	687,453	620,244	670,471	660,560	697,222	705,759	737,808	792,497	744,177	866,611	941,110	1,319,317
		2012年	893,665	999,500	1,181,371	1,220,034	961,883	918,092	930,047	1,014,302	903,339	950,375	996,385	1,404,914
		2013年	899,662	836,975	1,032,912	872,371	797,105	696,690	708,613	801,882	730,540	791,201		
冷凍魚	全国数量	2011年	31,733,289	22,455,292	10,494,502	19,840,151	9,480,171	6,432,046	8,424,501	11,054,521	14,572,604	10,397,572	15,768,970	22,028,584
		2012年	26,966,579	24,252,974	15,540,756	28,570,680	14,904,410	8,193,542	11,850,859	9,171,813	13,772,133	9,989,205	12,444,773	14,569,057
		2013年	26,371,691	19,181,182	14,196,377	31,660,156	9,206,312	6,343,283	10,435,404	12,167,460	9,635,949	9,444,983		
	東京港数量	2011年	21,692,579	14,502,618	7,340,934	14,676,467	5,721,198	3,676,938	2,860,562	4,926,343	4,954,748	4,615,153	9,130,398	15,160,590
		2012年	18,113,842	15,948,914	11,605,395	18,275,681	10,134,294	3,798,086	7,168,174	3,185,183	3,171,037	4,570,181	6,803,971	8,581,003
		2013年	18,944,467	12,219,616	9,870,238	21,838,621	6,449,993	3,406,089	3,660,089	3,614,386	2,949,151	4,101,250		

○2012年 港別シェア

生鮮冷蔵もの(フィレを含む。)

港/空港	数量(キロ)	金額(千円)
成田空港	15,510,192	10,736,381
関西空港	15,222,129	10,042,996
福岡空港	3,163,964	2,024,014
中部空港	1,024,980	811,311
その他	974,706	623,337
	35,895,971	24,238,039

冷凍もの(フィレを含む。)

港/空港	数量(キロ)	金額(千円)
東京	151,448,187	78,084,019
川崎	21,752,866	14,050,852
仙台塩釜	14,235,377	5,610,019
千葉	13,175,083	5,901,623
博多	9,219,348	4,684,521
大阪	8,572,588	5,709,367
横浜	7,857,286	3,646,235
札幌	6,830,961	2,768,206
その他	19,704,675	10,147,954
	252,796,371	130,602,796

○生鮮冷蔵魚及び冷凍魚(フィレを除く。)の輸出動向(全国)

(単位:キロ)					
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
全国数量	45,128,473	55,587,308	65,166,197	22,378,645	21,490,085